



報恩講(10月)



蓮如上人御影道中(5月6日)



五村別院と

教如上人



五村別院と

教如上人

時は戦国時代、大坂石山を中心に勢力を誇っていた本願寺は、

天下統一を目指す織田信長と対立していたが、天正8年(1580)には朝廷の介入により和睦し、第十一世頭如は紀伊雑賀の鷲森御坊(和歌山)に移った。しかし信長に不信感をもっていた教如は、徹底抗戦を主張し本願寺に籠城するも、父頭如から義絶。信長の凄まじい総攻撃を受けた教如はついに退去を決意し、いわゆる11年間にもおよぶ石山合戦は、ここに終結した。

文禄元年(1592)頭如の死により、教如は本願寺第十二世を継承したが、母如春尼と豊臣秀吉の意向により、弟の准如が後継となり、教如は隠居を命じられた。

そこで、教如に深く帰依する湖北の門徒衆は、五村の地に坊地を寄進し教如を迎えることにした。地元の郷土である大村刑部らが、多賀山十念寺跡に一字を建立、ここに五村別院が開創した。

その後、教如は家康から京都六条烏丸の地に寺地の寄進を受け、東本願寺を建立。これにより、五村の御堂は「五村懸所」、または「元の本山」と称された。



教如上人寿像(五村別院蔵)





■表門（重要文化財）
延宝2年（1674）建立。大工は西嶋家。



■経堂／輪藏



■太鼓楼
寛政5年（1793）再建。



しょうろう
■鐘楼（町指定文化財）
桁行一間 梁間一間 切妻造 棧瓦葺
梵鐘が改鑄された18世紀中期に建立、
大工は西嶋家。



ぼんしょう
■梵鐘（町指定文化財）
総高178cm 口径90.8cm
宝暦4年（1754）鑄造。
鑄物師は近江国辻村の高谷忠兵衛。



■書院



■教如上人銅像

■教如上人御遺骨奉安所碑

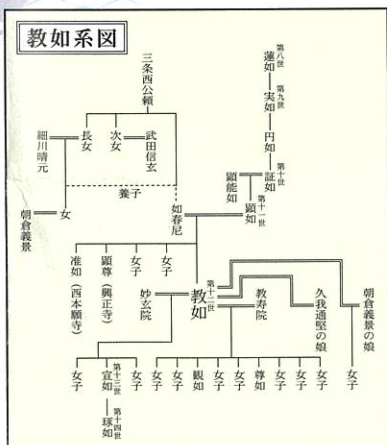


■教如上人御廟(ごびょう)

1922年(大正11年)、大阪府太子町の聖徳太子廟(磯長陵)を模して改修。
現在の御廟は、2013年(平成25年)、上人の四百回忌を機縁として修復事業を
起ち上げ、2017年(平成29年)9月完成。



■句仏上人(第二十三世彰如)句碑
「札霞む教如上人御建立」

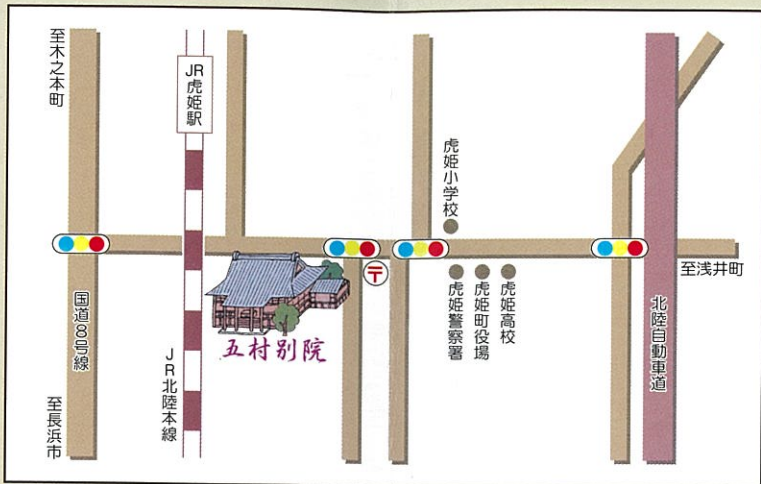


五村別院のあゆみ

和歴	西暦	主なできごと
慶長2	1597	五村道場草創
慶長3	1598	坊舎建立 浅井郡代官日下部善助が普請奉行 ※一説に慶長5年(1600) 竣工は慶長7年(1602)
慶長13	1608	対面所建立
寛永15	1638	本堂再建
万治2	1659	辻村で梵鐘鑄造
万治3	1660	鐘楼建立
延宝2	1674	表門建立(大工は西嶋但馬家)
天和2	1682	太鼓楼建立
宝永3	1706	客殿建立
享保6	1721	本堂新始の式 旧本堂を酢・常善寺に50両で譲る
享保15	1730	本堂上棟(大工は西嶋但馬元親)
宝暦4	1754	梵鐘改鑄(鑄物師は辻村の高谷忠兵衛) この頃鐘楼再建
安永2	1773	辻門建立
寛政5	1793	太鼓楼再建
寛政8	1796	客殿再建
文化4	1807	台所改築
嘉永7	1854	大広間再建
安政2	1855	茶所改築
明治31	1898	香部屋建立
明治42	1909	姉川地震、本堂以外の建物悉く半・全壊
大正11	1922	教如上人御廟改修
昭和31	1956	本堂屋根葺替(銅板葺から棧瓦葺に)
平成23	2011	大広間改修
平成27	2015	客殿改修
平成29	2017	教如上人御廟改修

教如上人略年表

和歴	西暦	事項
永禄元	1558	本願寺第十一世顕如の長男として石山本願寺で誕生。
元亀元	1570	織田信長と本願寺の間に石山合戦始まる。
天正8	1580	信長と和睦。教如、徹底抗戦を主張し、湖北三郡 始め全国へ檄を飛ばす。8月本願寺退去。各地を 流浪。
文禄元	1592	顕如逝去により、本願寺第十二世を継承。
文禄2	1593	豊臣秀吉、教如に隠居を命じ、弟准如が後継となる。
慶長2	1597	大村刑部らが教如を迎え、寺地を寄進。 五村道場草創。
慶長5	1600	関東に徳川家康を見舞う。帰路豊臣方に追われ、 美濃春日谷を越え湖北に逃れる。 関ヶ原合戦終わる。
慶長7	1602	家康より京都六条烏丸の地を得て東本願寺を創建。 東西分立成る。
慶長19	1614	十月五日寂。享年五十七歳。



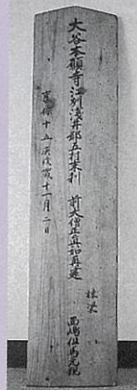
重要文化財

五村別院本堂

宇を建立したのが始まり。境内は東西78間、南北62間と広大で、表門から右回りに、茶所、鐘楼、経堂、本堂、広間、客殿、庫裡、辻門、太鼓楼などの建物が伽藍をなし、厳かな景観を見せる。

現在の本堂は、享保15年(1730)上棟の大規模な建物で、富田村(現びわ町富田)の大工・西嶋但馬元親により再建された。

桁行24・3m 梁間26・1m
 入母屋造 向拝三間 棧瓦葺
 平成10年(1998)本堂と表門が国の重要文化財に指定。



現存する棟札
 「大谷本願寺江州浅井郡五村末刹
 前大僧正真如再建
 棟梁 西嶋但馬元親
 享保十五年庚戌歳十一月二日」



銅瓦寄進江戸同行中
 湖北出身の商人近江屋茂兵衛一族と同行衆による五村別院の銅板瓦寄進札。

慶長2年(1597)、地元の郷士らが寺地を寄進し、ここに一



五日講(10月5日)

平成13年度	夏中	午前10時	午後1時
五日	法話	法師	法師
六日	法話	法師	法師
七日	法話	法師	法師
八日	法話	法師	法師
九日	法話	法師	法師
十日	法話	法師	法師
十一日	法話	法師	法師
十二日	法話	法師	法師
十三日	法話	法師	法師
十四日	法話	法師	法師
十五日	法話	法師	法師
十六日	法話	法師	法師
十七日	法話	法師	法師
十八日	法話	法師	法師
十九日	法話	法師	法師
二十日	法話	法師	法師
二十一日	法話	法師	法師
二十二日	法話	法師	法師
二十三日	法話	法師	法師
二十四日	法話	法師	法師
二十五日	法話	法師	法師
二十六日	法話	法師	法師
二十七日	法話	法師	法師
二十八日	法話	法師	法師
二十九日	法話	法師	法師
三十日	法話	法師	法師

夏中(8月)

思い出のスタンプ

五村別院の文化を守る会

〒529-0141 滋賀県長浜市五村150
 TEL. 0749-73-3133